

教科	芸術				
科目	音楽Ⅰ	単位数	2 単位	履修年次	1 年次～
使用教科書	音楽Ⅰ mousa（教育芸術社）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う） ④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。

2 学習の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （１） 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- （２） 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- （３） 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 指導の重点

様々な楽曲を通して幅広い音楽を知り、音楽に対しての理解を深めるとともに音楽のしくみや技能を身につけ、自己表現力を高めていく。

4 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	アンケート			7	取組状況 課題進行 状況 実技テスト
	校歌	校歌	校歌の暗唱テスト 校歌の写譜		
	楽譜に関する基礎と ソルフェージュ	リズム譜 コンコーネ50番	楽譜の読み方、書き 方 音程とリズムの基礎	8	
	ウクレレ演奏 歌唱	ウクレレ	実技テストを行う	20	
	世界の音楽鑑賞	日本および世界の 民謡他	特徴や文化的歴史的背景に関心を 持ち理解を深める	8	
後期	ミュージックベル	ミュージックベル	グループに分かれてミュ ージックベルを演奏する	7	取組状況 課題進行 状況 実技テスト
	楽器演奏	各自選曲	各自のレベルや適正に合わ せて楽器などを決めて選 曲、練習。授業内で発表会 をおこなう	15	
	創作活動	生徒の創作曲	音楽の要素・働き・構成を工 夫して音楽をつくり発表する	5	
				計	70 (50分授業)

5 課題・提出物等

校歌、それぞれの単元の曲のテストや楽譜の提出をおこないます。

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
創意工夫を生かした音楽表現 をするために必要な歌唱、器 楽、創作の基礎的な技能を身 に付け、表現している。	歌唱、器楽などで音楽表現を 工夫し、どのように歌うか、 演奏するか、音楽をつくるか について自己表現している。	音楽や音楽文化に関心を持 ち、歌唱、器楽、鑑賞などの 学習に主体的に取り組もうと している。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【評価】 実技試験や課題・提出物等の 「知識・技能」に関して 満足できる状況と判断でき る・・・A 概ね満足できる状況と判断でき る・・・B 努力を要する状況と判断でき る・・・C	【評価】 「思考・判断・表現」分野が 満足できる状況と判断でき る・・・A 概ね満足できる状況と判断でき る・・・B 努力を要する状況と判断でき る・・・C	【評価】 課題に取り組む態度が 充分満足できる状況と判断でき る・・・A 概ね満足できる状況と判断でき る・・・B 努力を要する状況と判断でき る・・・C

8 担当者からの一言

音楽表現の基礎を身につけてください。